【資料1-1】

平成27年度新市建設計画関係予算

（単位：千円）

地域	区分	具体的事業名	事業費	合併特例債
香寺町	経常	夏まつり事業	4,250	0
		ため池クリーンキャンペーン＆コスモス祭り	500	0
		子育て学習活動	738	0
		地域審議会の運営	1,517	0
		小計	7,005	0
	投資	林道整備事業	15,000	14,300
		溝口駅周辺整備、香呂駅周辺整備	206,800	125,600
		道路新設改良事業（川手線ほか13路線）	427,000	300,400
		橋りょう耐震化事業	19,500	18,500
		河川改修事業	29,000	27,600
		園舎、校舎等リニューアルの推進〔香呂南小学校屋内運動場、香寺中学校運動場、体育館等吊天井対策（香寺中学校）〕	85,122	38,000
		サッカーグラウンド整備	150,000	114,000
		小計	932,422	638,400
	合計		939,427	638,400

【資料1-2】

具体的事業素案等の状況（26年度末実績）

《香寺地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区 分
1	道路新設改良事業	(都)川手線(広瀬)	事業中
		(都)川手線(広瀬～犬飼)	事業中
		(都)川手線(溝口)	
		中仁野中屋線	完了
		恒屋2号線	完了
		赤坂線	完了
		中央線	完了
		香寺西線	事業中
		田野犬飼2号線（田野～犬飼）	事業中
		田野犬飼線（中仁野～田野）	事業中
		新錬金線(須加院～田野)	事業中
		土師溝口線（土師～野田）	事業中
		土師西前畑線	事業中
		溝口ニュータウン15号線	完了
		広瀬公会堂線	完了
		犬飼東西線	
		中村線	事業中
		中寺広瀬線	
		中村地蔵線	完了
		恒屋3号線	
		中道線	事業中
		大森線	完了
		中仁野南北線	完了
		高尾線	
		広瀬東西線	
		香呂広瀬線	完了
		皮屋前線	
		天神ノ前線	事業中
		※　集落地域整備事業（土師・岩部地区集落地計画）	事業中
	橋りょう耐震化事業	高砂橋	完了
		姫ヶ丘橋	完了
		藤ヶ台橋	完了
		西谷橋	完了
		中ノ橋	完了
		榎木橋	終了
		屋田橋	完了
		岩瀬橋	事業中
		平田橋	終了
		菰原橋	完了

「※」は、合併後に追加した事業

《香寺地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区 分
	道路維持、修繕事業	道路維持修繕事業	事業中
	上水道の安定供給事業	膜処理施設・マンガン施設整備事業（香寺浄水場）	完了
		配水池の整備	
		配水管整備	完了
	下水道の整備事業	下水道整備事業	完了
	土地区画整理事業	香寺町土師地区	完了
	河川改修事業	※　郷原川	
		※　大谷川	完了
		※　犬飼川	完了
		※　犬飼南川	完了
		※　溝口川	完了
		※　大妻川	事業中
2	公営住宅建替事業等	公営住宅の建替え（土師住宅）	
	保育所の整備事業	中寺保育所	終了
		香呂保育所	完了
	保健センター等の整備事業	健康福祉センター耐震改修工事	終了
	保健センター機能の充実	健康福祉センターの機器類整備	完了
	防災施設の充実	防災倉庫の設置	完了
		※　避難所看板設置	完了
		※　防災機器移設	完了
	耐震性防火水槽の整備	飲料水兼用耐震性貯水槽の整備	完了
	消防・救急救助拠点の整備	消防出張所の整備	完了
	消防団施設・装備の充実	消防団車庫等の整備	完了
		※　消防団被服の統一	完了
	歩道整備事業	姫ヶ丘1号線道路改良事業	完了
3	公民館網の整備	市立公民館の建設・改修（センター中寺の改修）	
	図書館網の整備	図書館網の整備	完了
		※　図書館の整備	完了
	学習活動・機会の充実	女性セミナー	事業中
		丸山大学	事業中
		わくわく広場こうでら（子育て学習活動）	事業中
	園舎、校舎等のリニューアルの推進（公共施設の耐震対策の推進を含む）	中寺小（校舎）	完了
		香呂小（校舎）	完了
		香呂南小（校舎）	事業中
		香寺中（校舎）	完了
		※　中寺小（給食）	完了
		中寺小（体育館）	完了
		香呂小（体育館）	完了
		香寺中（体育館）	完了
		※　体育館等吊天井落下防止対策	事業中
		※　香寺中（運動場）	事業中

「※」は、合併後に追加した事業

《香寺地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区 分
		※　中寺小（校庭）	完了
		香呂幼稚園	完了
		中寺幼稚園	
	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設の整備	テニスコートの改修	完了
		公立体育館の改修	完了
		室内プール（香寺プール）の改修	完了
	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動の啓発と参加の推進	マラソン大会の開催	終了
	市史の編さんと古文書類の活用	旧町史編集事業	完了
	地域交流の推進	※　集会所の建替え（広瀬ふれあい会館）	完了
4	都市型農業の推進	ため池等整備事業（練金下池）	完了
		ため池等整備事業（西ノ奥池）	完了
		※　ため池等整備事業（坂の尻池）	完了
		※　ため池等整備事業（黒谷池）	完了
		※　ため池等整備事業（郷原口池）	完了
		※　ため池等整備事業（雨ヶ代池）	完了
		※　ため池等整備事業（前谷中池）	完了
		※　ため池等整備事業（細倉大池）	事業中
		※　ため池等整備事業（愚呂面池）	事業中
		※　ため池等整備事業（久畑大池）	事業中
	林業の振興	※　林道整備事業	事業中
	CATV施設の整備	CATV施設整備促進事業	完了
	観光情報拠点の整備	※　観光案内サイン整備事業	完了
	鉄道駅周辺整備事業	香呂駅周辺整備	事業中
		溝口駅周辺整備	事業中
5	歴史的・自然的観光資源の保全・活用	河川環境整備事業（恒屋川）	完了
	観光イベントの実施	夏まつり事業	事業中
		※　ため池クリーンキャンペーン＆コスモス祭り	事業中
		※　七夕フェスティバル	終了
	資源循環型社会づくり事業	※　ごみ分別・減量化推進事業〔家庭ごみ分別区分の統一事業〕	完了
		※　ごみ分別・減量化推進事業〔ごみ収集車更新事業〕	完了
6	多様な交流の展開	地域文化祭等の充実	事業中
	文化交流施設の充実・整備	健康福祉センターホール改修工事	
7	電子市役所の構築	統合型地理情報システムの整備	完了
		戸籍総合システムの整備	完了
	地域事務所の整備	拠点施設整備	完了
	庁舎の整備	旧市町庁舎改修事業（香寺事務所）	完了
	地域審議会の設置	地域審議会の設置	完了

「※」は、合併後に追加した事業

【資料 2】

答　　申　　書

平成２６年（2014 年）１１月１９日

姫路市長
　　石　見　利　勝　　様

香寺地域審議会
会長　　大　塚　恒　彦

新市建設計画の進捗状況について（答申）

平成２６年(2014 年)　４月２５日付けで諮問のありました標記の件について、香寺地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

１．ＪＲ香呂駅・溝口駅及びその周辺整備事業について（詳細別紙）

２．幹線道路の新設・改良事業について（詳細別紙）

３．都市計画道路の整備促進について（詳細別紙）

４．住居と農業と自然が調和した香寺らしい田園居住地域の創出について
（詳細別紙）

５．連携と交流の輪がひろがるまちづくりについて（詳細別紙）

１．ＪＲ香呂駅・溝口駅及びその周辺整備事業について（継続）

均衡と調和した都市発展・市北東部拠点整備の観点から、ＪＲ香呂駅・溝口駅及びその周辺整備事業について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

本事業は、香寺地域を姫路市北東部の拠点として整備するための象徴的事業であり、合併以降の答申において毎年申し上げてきております。

昨年度に引き続き、溝口駅においては、現在の整備計画に基づき関係権利者と移転補償等の交渉が行われており、既に取得していただいた箇所については計画にもとづく工事に着手いただいております。香呂駅においても、一部の移転補償物件の除却が完了するなど、住民の目に見える形で事業が進捗し始めており、関係者のご努力に感謝するところであります。

しかしながら、合併後早や９年目を迎えており、合併特例債等の制度活用の観点からも一日も早い事業の完成が必要ではないかと考えております。

また、新市建設計画の具体的事業素案に【駅出入り口の複数化、駅前ロータリー、駐車場等】と特に明記された趣旨は、新市建設計画策定小委員会で踏切・道路の拡幅等のみではなく、駅出入り口の複数化、駅前ロータリー、駐車場が当地域にとって欠かせない事項であるとの認識で特別に記載されたものとご理解していただきたいと思います。

まずは、現在の両駅周辺整備計画の早期完成に全力をあげていただくとともに、当審議会設置期間中に全体計画として、「駅出入り口複数化」などの整備計画を検討していただきたいと思います。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画具体的事業素案に基づく事業〕

（１）香呂・溝口両駅周辺の踏切及び道路の拡幅、ロータリー整備工事を当審議会設置期間中（平成２７年度中）に完成。（継続）

（２）当審議会設置期間内（平成２７年度）に第２期事業としてきた橋上化等も考慮した、駅出入り口複数化等の将来計画を早急に策定し、その事業化に向けた取り組みの実施。

また、それらが実現するまでのバリアフリー対策の観点からも暫定措置として、改札口複数化対策の検討。（継続）

（３）交通結節機能強化の観点から、事業完了した両駅から幹線道路までのアクセス道路の整備等の検討。（継続）

２．幹線道路の新設・改良事業について（継続）

新市の一体性の速やかな確立の観点から、幹線道路の新設・改良事業について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

新市の一体性の確立には、市街中心部へのアクセスとなる広域連携軸の道路網整備や、地域連携軸の柱となる幹線道路の整備をすることにより、生活の利便性を高める取り組みが必要であります。このことから、合併後に多くの道路事業に着手されていますが、合併後９年目を迎え新市の一体性や合併特例債等の制度活用の観点からも道路整備事業がさらに進捗するよう、市の幹線道路整備事業推進に向けたより一層の取り組みが必要であると考えます。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画具体的事業素案に基づく事業〕

（１）香呂２１８号線（川手線）新設工事の現工事区間を平成２６年度中の完成・供用開始（継続）

（２）香呂１４８号線（香寺西線）拡幅工事について、犬飼・田野地区の早期拡幅と相坂地区のゴルフ場入り口南側付近の急カーブ部分の早急な用地取得と、拡幅工事の実施（継続）

（３）香呂１８４号線（田野犬飼２号線）の工事進捗と早期供用開始並びに、交差する香呂１３３号線（田野犬飼線）の創設換地による道路用地部分の早期完成・供用開始（継続）

（４）香呂９９号線（中央線）の県道中寺北条線（県道バイパス）から市道中寺１７７号線（旧県道）までの区間の拡幅事業の継続（新規）

（５）中寺２８号線（恒屋２号線)、中寺１３５号線（土師溝口線）などの暫定完了路線の未改良箇所の取組みの継続（新規）

（６）香呂２４７号線（新錬金線）の法線確定と、それに基づく事業推進（新規）

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（７）県道久畑香呂線（一般県道）の中村、恒屋地内の未整備区間のより一層の事業進捗と早期完成を県に要望（継続）

（８）県道宍粟香寺線（主要地方道）相坂地内の未整備区間並びに、相坂トンネル付近の道路拡幅の早期事業化を県に要望（継続）

（９）国道３１２号の仁豊野（マリア病院前交差点）以北の早期拡幅を県に要望（継続）

（10）市道香呂２１８号線（川手線）から市川橋（仮称）を経由し、豊富町への連絡道路の新設事業の検討（継続）

３．都市計画道路の整備促進について（継続）

都市計画道路を中心とした交通ネットワークの構築による快適で魅力ある都市基盤の整備の観点から以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

新市建設計画では姫路市の都市計画の基本方針として、多核分散型ネットワークの形成を図ると述べられております。その地域核の一つとなる香寺地域は市北東部の拠点と位置づけされており、都心部と旧町域を結ぶ広域連携軸となるアクセス道路網の整備や、それらを補完する地域連携軸となる道路網の整備など道路交通ネットワークの構築が必要と考えます。それらを考慮した場合の香寺地域における最も重要な都市基盤の整備として「都市計画道路」の整備促進を図ることが大切であると考えます。交通ネットワークの構築による人・物の交流を促進し、香寺地域だけではなく、その周辺地域との結びつき強化を図り、災害時における緊急輸送路の確保など、本市のさらなる一体性に繋がると考えます。

このことから、当審議会として香寺地域における現状の都市計画道路の計画を堅持し、整備を進めていくことが必要であると考えており、市と住民が一体となり積極的な事業化への取り組みが必要と考えます。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（１）香寺中央線（都市計画道路）の県社会基盤整備プログラム又は、姫路市都市計画道路整備プログラムへの記載及び早期事業化への取組み（継続）

（２）川手線（都市計画道路）の現工事区間の完成後、引続き南進区間に当たる中仁野地区から犬飼地区までの区間及び、北進区間に当たる溝口地内の事業化。また、それら区間の事業化に必要な、県社会基盤整備プログラムへの記載又は、姫路市都市計画道路整備プログラムへの記載及び早期事業化への取組み。（継続）

【資料 2】

４．住居と農業と自然が調和した香寺らしい田園居住地域の創出について（継続）

均衡と調和ある都市発展の観点から、新市建設計画地域別整備方針の香寺地域らしい田園居住地域としての場の創出について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

新市建設計画では姫路市の都市計画の基本方針として、多核分散型・交流ネットワークの都市構造を目指すと述べられております。その地域核の一つとなる香寺地域のまちづくりについては、駅周辺農地の宅地化可能地域の拡大とそれ以外で多く残っている農地を自然環境保護の面からも保全することにより、香寺らしいまちづくりを創出することが最もふさわしいと考えます。

新市建設計画の地域別整備方針の「香寺地域」にある、

- 立地特性を生かした北東部の拠点としての振興
- 農地の多面的活用
- 良好な田園居住地域としての場の提供
- 緑に包まれた良好な住宅地としてのアメニティの高い生活環境の整備

などについて、都市計画マスタープラン等の改定において、市の今後の考えや、計画、具体的な事業などを示していただく必要があると考えております。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（１）香寺らしいまちを創出するため、住宅地と田園とが調和の取れた田園居住地域の提案（継続）

（２）都市計画マスタープランで田園居住地域としての位置付けと、それに基づく政策の立案（継続）

５．連携と交流の輪がひろがるまちづくりについて（新規）

地域の賑わいの創出や市民参画、交流推進と活動の支援について、以下のとおり答申します。

【理由（経緯）等】

合併後の香寺地域の世帯数等の推移をみると、世帯数で約９％増加する一方、人口は約３％減少していることから、香寺地域に新たに住み始めた世帯が増える一方、香寺地域の人口は若干ですが減少しています。

新市建設計画ではまちづくりの基本戦略として、市町合併により単に１つになるのではなく、従来の各市町が持っているポテンシャルをさらに飛躍・発展させることが重要とあります。その意味からも、香寺地域の位置する立地特性や既存施設を生かした地域の連携や交流の輪がひろがるまちづくりの推進やそれらに対する支援が今後必要ではないかと考えます。

また、合併後９年目を迎え当審議会の設置期間１０年も終盤を迎えていることから市民参画の観点から地域課題を話し合う場などのあり方について今後検討が必要ではないかと考えます。

なお、健康福祉センターや休養センター・香寺荘については施設の設置目的を効果的に発揮し、市民の利用を促進する観点からも、施設の運営内容や利用時間の検討、また行政目的の見直しなどによりそれに沿った所管部署にて施設の管理運営を実施していく必要があるのではないかと考えます。

【具体的な答申内容】

〔新市建設計画具体的事業素案に基づく事業〕

（１）新市建設計画具体的事業素案において計画されている事業の中で未着手となっている事業の事業化へ向けた検討（健康福祉センターホール改修等）（新規）

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（１）地域審議会設置期間終了後（平成２８年度以降）それに代わる市民の意見をくみ取る協議会等の会議のあり方検討（新規）

（２）香寺地域における市民の多様な交流や活動を促進するため、地域内の既存公共施設の存続や、これまで休養センター・香寺荘が担ってきた地域の交流の輪や憩いの場としての機能を今後も継続するため施設の運営継続や、それらに向けた必要な措置の検討（新規）

【資料3】

平成２６年度香寺地域審議会
答申に係る市の取り組みについて

平成２７年５月２８日（木）
姫路市 総務局 総務部 香寺事務所

番号	答申項目	説 明 内 容
1	**ＪＲ香呂駅･溝口駅及びその周辺整備事業について**	「公共交通を中心とした姫路市総合交通計画　実施計画編」事業プログラムに基づき、香呂駅・溝口駅の交通結節機能強化に向け事業を実施しています。 平成２６年度は、香呂駅周辺整備事業において、用地取得及び物件補償交渉がほぼ終了し、北側及び南側駐輪場の整備工事を実施し、一部を供用開始しました。溝口駅周辺整備事業においても、ＪＲ西日本と協定を締結し、踏切拡幅工事を行うとともに、用地取得及び物件補償交渉を行い、駅周辺の道路改良工事を実施しました。 平成２７年度は、香呂駅において、引き続き駅前広場整備工事の今年度完成を目指し、踏切拡幅工事（県事業）については、平成２８年度の完成を目指します。溝口駅においても、用地取得及び物件移転を進めるとともに駅前広場下の雨水貯留施設工事に着手し、平成２８年度の完成を目指します。 両駅出入口の複数化については、ＪＲと費用負担や関連施設の整備について協議を進めており、今年度の供用開始を目指します。 また、両駅の周辺道路の整備については、香呂駅関連では、駅前広場整備後の周辺道路の交通事情を検証し、更なる道路整備の必要性が議論され、関係地権者の同意を前提とした地元自治会からの要望があれば、整備手法、財源等を含め可能性について検討したいと思います。溝口駅関連では、家屋が連坦する路線であり、膨大な事業費と事業期間が必要となるため、現時点では事業化は困難であると考えておりますが、駅前広場整備後の周辺道路の交通事情を検証し、必要に応じて地元自治会とも協議したいと考えております。

2	**幹線道路の新設･改良事業について**	(1)香呂２１８号線（川手線）については、広瀬地内の県道小野香寺線から香呂９０号線（中仁野中屋線）までの区間を国の交付金（補助）事業として事業実施し、用地の確定、買収及び物件の移転等に時間を要しておりましたが、平成２７年度中に工事を完了し、供用開始する予定です。 (2)香呂１４８号線（香寺西線）拡幅工事については、「田野～犬飼区間」と「相坂区間」に工区を分け事業を進めています。 「田野～犬飼区間」については、犬飼側より順次整備を進めており、今後も用地買収に努め、更に整備を進めて行く予定です。「相坂区間」についても、用地確定作業を進めており、用地確定終了箇所から順次用地買収それに引続き工事を行い、「田野～犬飼区間」と並行して整備を進めていきます。 なお、「相坂区間」についてはゴルフ場入口のカーブ付近の工事を現在実施しております。 (3)香呂１８４号線（田野犬飼２号線）と香呂１３３号線（田野犬飼線）については、計画区間の用地買収が完了していることもあり、市としても整備を進めていき、早期に完了、供用開始を目指したいと考えています。 平成２６年度については、田野犬飼２号線において、田野犬飼線との交差点を挟む延長約４３０ｍの区間の舗装工事を実施しました。 (4)香呂９９号線（中央線）の県道中寺北条線（県道バイパス）から市道中寺１７７号線（旧県道）までの区間の拡幅については、県道北側のＳ字カーブ区間について早期要望があった事から可能な部分の事業を実施し暫定完了としています。 (5)中寺２８号線（恒屋２号線）、中寺１３５号線（土師溝口線）等の未改良箇所の取組について、恒屋２号線は、関係地権者の協力が得られず、地元自治会へも説明したうえで暫定完了といたしました。

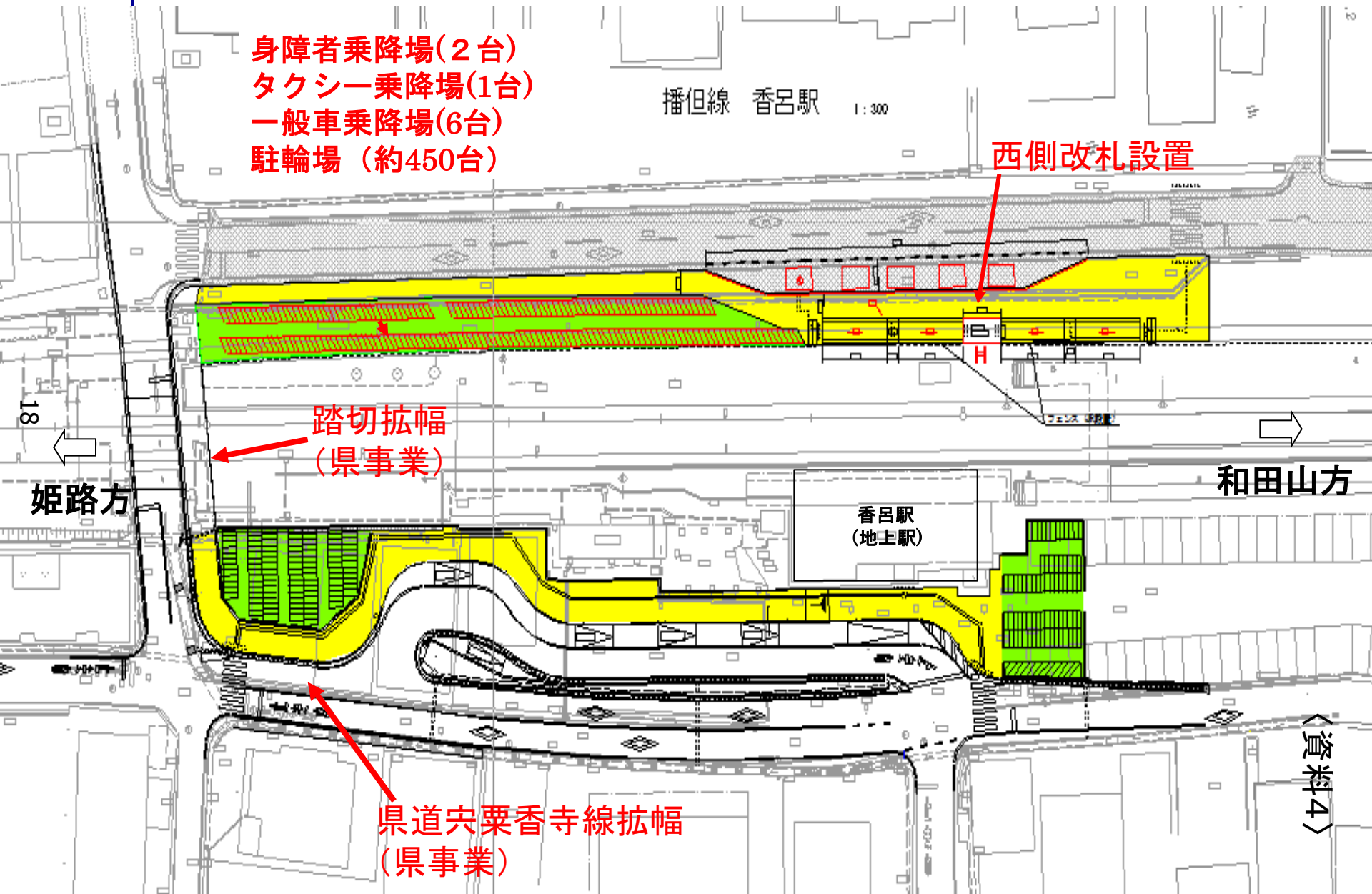
		土師溝口線は、現整備計画では関係地権者の同意が得られないことから、現在法線を変更して整備を進めることができないか地元と協議しており、今後も取組みを継続していきます。 (6)香呂２４７号線（新錬金線）については、以前の法線では、ため池東側の山を切り開いて直線で計画されていましたが、道路の縦断勾配や事業費等の問題により、曲線区間を設けて池の手前で現道に取りつくよう、地元の了解を得て法線を変更し、関係機関協議を経て一部法線を修正し、ほぼ確定しました。現在は、関係する用地の問題点について関係機関と協議しており、協議が整えば地権者との境界立会を実施し、用地買収に向けた取り組みを進め平成２９年度に完成する予定で事業を進めたいと考えています。 (7)県道久畑香呂線（一般県道）の中村、恒屋地区内の未整備区間の早期完成について県に進捗状況を確認したところ、平成２７年度は恒屋橋の上部工事を実施予定であり、用地測量・用地買収も引き続き進めていく予定と聞いています。 なお、平成２６年６月改訂の県社会基盤整備プログラムにおいて後期（平成３１年度～３５年度）に完了予定とされており、早期事業推進について引き続き県へ要望を実施していきます。 (8)県道宍粟香寺線（主要地方道）については、平成２６年６月改訂の県社会基盤整備プログラム（平成２６年度～３５年度）において、「周辺環境の変化（開発、工場立地、道路ネットワーク等）や、周辺の地域づくりの進展状況など、社会経済情勢の動向を見極め、事業化を検討する箇所」として位置づけされています。次回のプログラム改訂時に着手路線に位置づけられるよう引き続き県に要望していきます。 (9)国道３１２号の仁豊野（マリア病院前交差点）以北の拡幅については、平成２６年６月改訂の県社会基盤整備プ

		ログラム（平成２６年度～３５年度）において、砥堀地区における現道拡幅が前期（平成２６年度～３０年度）の着手路線として掲載されています。当該区間についてもプログラムに登載されるよう、今後も県に要望していきます。 (10)市道香呂２１８号線（川手線）から市川橋（仮称）を経由し、豊富町への道路の新設については、県に確認したところ、新行財政構造改革推進方策を踏まえ、県では限られた財源の中で選択と集中により社会基盤整備を行っており、当面事業化の予定は無いと聞いておりますが、市としては、市内における県事業の整備状況を勘案しながら、県に要望していきたいと考えております。
３	**都市計画道路の整備促進について**	(1)姫路市では効率的かつ責任ある社会基盤整備を進めるため、平成２４年度から都市計画施設の見直しに取り組んでおり、県策定の「都市計画道路網見直しガイドライン」に沿って、県とともに検証作業を進め、平成２７年５月に未整備路線の存続・廃止等の方針を示した「姫路市都市計画道路の見直し方針」を策定し公表いたしました。なお、香寺地域については、廃止候補の都市計画道路はありませんでした。 香寺中央線（都市計画道路）については、県社会基盤整備プログラムに登載されておらず、当面事業化の予定は無いと聞いていますが、次回改定時にはプログラムに登載されるよう引き続き要望していきたいと思います。 (2)川手線（都市計画道路）については、広瀬地内の県道小野香寺線から中仁野中屋線までの現工事区間の完了後、引き続き事業の継続性重視の観点から関係機関と協議を行い南進区間について優先事業化し、広瀬南地区の２００ｍ区間の事業に取り組んでおり、北進区間に当たる溝口地内の事業化につきましては、現在のところ予定はありません。

4	**住居と農業と自然が調和した香寺らしい田園居住地域の創出にについて**	市では都市計画マスタープランの改定作業を進めてきました。平成２６年度は、素案について、地元説明会の開催や、パブリックコメントを実施し、その結果を公表するとともに、平成４２年を目標年次とする「姫路市都市計画マスタープラン」の改定を告示しました。 その中において、香寺地域は自然に恵まれた水田地帯の維持保全を図りつつ、ＪＲ香呂駅・溝口駅の交通結節機能を強化し、周囲の緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指す地域として位置づけています。
5	**連携と交流の輪がひろがるまちづくりについて**	⑴新市建設計画具体的事業素案において記載されている事業の中で未着手の香寺健康福祉センターは、近隣に香寺公民館があることやホールの利用頻度が低いことから、費用対効果を考慮すると、ホールの大規模な改修は困難であり、故障箇所の修繕等のメンテナンスで対応していきます。 なお、土、日、祝日及び年末年始の休館日において必要と認める場合は、使用を許可しています。また、使用時間外の延長使用も許可しており、柔軟な対応を行っております。 ⑵地域審議会設置期間終了後（平成２８年度以降）それに代わる市民の意見をくみ取る協議会等のあり方について、今後、連合自治会なども協議しながら、地域が主体となって運営いただく「地域づくり推進協議会」の設立に向けて市としても協力していきたいと考えております。 ⑶休養センター・香寺荘については、行政が宿泊施設を経営する必要性が、社会情勢の変化の中で低下していると考えています。 このような中で、施設利用者や地域のニーズ、観光振興等への貢献を考慮し、今後も可能な限り長期的・安定的に施設運営ができるよう、機能や運営主体の見直しなど、施設のあり方について、平成２７年度に策定する予定の「公共施設等総合管理計画」において検討してまいりたいと思います。

		なお、平成２７年４月から平成３２年３月末までの５年間は、指定管理者制度を活用してこれまでと同様に施設の運用を図ってまいります。

香呂駅の整備計画


身障者乗降場(２台)
タクシー乗降場(1台)
一般車乗降場(6台)
駐輪場（約450台）
播但線　香呂駅
1:300
西側改札設置
H
踏切拡幅
（県事業）
18
姫路方
和田山方
香呂駅
（地上駅）
県道宍粟香寺線拡幅
（県事業）
〈資料4〉

溝口駅の整備計画

〈資料4〉

【資料5】

新市建設計画に係る道路新設改良事業一覧

（香寺町幹線道路）

	路線名	場所	事業内容	H27事業予定
1	(都)川手線	広瀬	L＝441．73m W＝6．5(16．0)m	工事(H26繰越)
2	(都)川手線	広瀬～犬飼	L＝1490．0m W＝6．5(16．0)m	用地測量・用地買収・物件補償
3	(都)川手線	溝口	L＝550m W＝6．5(16．0)m	
4	中仁野中屋線	広瀬	L＝163．49m W＝6．5(14．75)m	完了(H23)
5	姫ヶ丘1号線	須加院	L＝320．0m W＝5．5(9．0)m	完了(H22)
6	恒屋2号線	北恒屋	L＝800．0m W＝6．0(10．0)m	暫定完了(H21)
7	赤坂線	土師	L＝720．0m W＝5．5(8．75)m	暫定完了(H22)
8	中央線	溝口	L＝806．0m W＝6．0(10．0)m	暫定完了(H25)
9	田野犬飼2号線	田野	L＝1074．0m W＝6．0(11．0)m	工事
10	田野犬飼線	田野	L＝540．0m W＝6．0(11．0)m	工事
11	新錬金線	須加院	L＝1520．0m W＝6．0(8．0)m	用地測量・用地買収・物件補償
12	香寺西線	犬飼・田野 相坂	L＝1700．0m W＝6．0(11．0)m	用地買収・物件補償・工事(田野) 用地測量・買収・物件補償・工事(相坂・繰越)
13	土師溝口線	野田	L＝270．0m W＝6．0(8．0)m	路線測量・道路概略設計
14	土師西前畑線	土師	L＝1000．0m W＝5．5(8．75)m	用地買収・工事

香寺町幹線道路整備箇所図

N

⑥恒屋2号線
⑦赤坂線
⑧中央線
⑬土師溝口線
③（都）川手線
⑭土師西前畑線
①（都）川手線
④中仁野中屋線
②（都）川手線
⑫香寺西線（相坂）
⑩田野犬飼線
⑨田野犬飼２号線
⑫香寺西線（田野・犬飼）
⑪新錬金線
香呂225号線
⑤姫ヶ丘1号線

凡　例

- 播但線
- 国道312号
- 都市計画道路
- 供用区間
- 一般県道
- 対象路線（幹線道路）
- 完了区間
- 実施区間
- 計画区間
- 法線検討区間

姫　路　市